

平成29年度事業報告に関する件

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

全 体 概 要

I 概 要

平成19年1月に平安建都1200年記念協会と京都コンベンションビューローが統合を行い、新たな財団法人として本法人が誕生した。

平成29年度は、これまで10年間に渡って培ってきた文化と観光両面での成果とノウハウを基盤として、「新たな10年」をスタートさせる節目の年となった。

観光面では、特に国際会議の開催数について10年前は150件前後であったものが、平成29年においては4年連続で過去最高を更新し、300件を大きく超えるまでに増加した。

また文化面においては、これまで源氏物語千年紀や琳派400年記念祭などの成果に加え、平成29年度は古典の日の法制化5周年を迎え、11月1日の古典の日フォーラム2017を中心に、様々な記念事業を積極的に展開した。

そして、文化と観光の双方を所管する京都で唯一の公益法人として、平成29年度から「新たな10年」をスタートさせるべく、文化と観光の融合、クロスオーバーした企画・事業に精力的に取り組んだ。

MICE事業におけるユニークベニユーの取組は、京都の優れた、価値ある文化資源をMICE会場として提供できる仕組みであり、まさに文化と観光の融合となる、全国的にも最も進んだ取組として、高い評価を受けているところである。

合わせて、新たに京都新聞社と共同で、「文遊回廊」事業をスタートさせた。

これは京都ゆかりの珠玉の文学作品等を広く紹介し、更に作品に登場する舞台を巡るルートを策定していく取り組みである。文化・観光に加えて、これらを融合した企画として、各方面から好評を博している。

また、現代日本の伝統建築・工芸の粋ともいえる京都迎賓館において、一昨年から広く一般公開が行われることとなり、平成29年度は初めて本法人として年間を通して広報、記念品販売などを行い、京都の伝統工芸品を中心に販売額は年間予算である5千万円を超えた。

平成29年度はこうした取組を初め、多くの事業で従前の企画を基盤にしつつ更に拡充を図るとともに、新規事業にも積極的にチャレンジを行い、本法人として文化と観光を基軸とする「新たな10年」をスタートさせた。

以下が平成29年度の重点施策別の取組状況の結果である。

II 4つの重点施策別の取組状況

1 文化・観光クロスオーバーの推進

本法人にとって、「新たな10年」のシンボリックな企画となる「文遊回廊」事業をスタートさせた。

本事業は京都新聞社との共催事業として、古典を中心に、京都ゆかりの文学作品や文人、作家等をテーマとし、作品に登場する舞台や、文人等にちなむ地を広く紹介し、それらを巡ることのできるルートを策定していくものであり、平成29年10月から、毎月第4木曜日、京都新聞紙上に連載中である。

これは単に、ゆかりの地を巡るルートを紹介する観光案内が目的でなく、まずは古典などの文学作品に興味を持っていただき、そして実際にゆかりの地にも訪れるなど、その作品により親しんでいただくことを目的としている。

このほど、京都新聞社とともに「文遊回廊」のウェブサイトも立ち上げ、今秋にはシンポジウムの開催も予定している。

また、こうした企画に加え、MICE事業におけるユニークベニユーの取組や、「お茶の京都」との連携、京都迎賓館一般公開事業を通じた伝統工芸の普及など、文化と観光の両面から、積極的に事業展開を行った。

2 観光・MICE戦略の推進

平成29年に京都で開催された国際会議件数は4年連続で過去最高を更新し、京都府全体で335件を記録した。京都市域で308件、市域を除く府内でも倍増となる29件と大幅に増加した。

また、将来の国際会議誘致についても、平成29年は国際連合世界観光機関（UNWTO）とユネスコによる「観光と文化をテーマにした国際会議」（平成31年開催）を初め、多数の会議誘致に成功した。

これは国際的、国内的にも都市間、地域間競争が激化する中で、赤星部長以下本法人担当者の弛まぬ努力と、行政そして国立京都国際会館等との前向きな協働と力強い結束による成果と考えている。

加えてMI案件についても、平成29年5月にルイ・ヴィトンが祇園新橋で国際交流会を実施し、さらに世界的な宝飾ブランドが市内の寺院でイベント等を開催した。また、海外大手PCOの連盟を誘致し、MICEディステネーションとしての京都の魅力をPRした。

一方、広域プロモーション事業として、「お茶の京都DMO」と連携し、宇治茶プレミアムブランド化（高付加価値化）に取り組んだ。

平成29年11月には、パリにおいて宇治茶プレミアムウィーク企画展や、とらやパリ

店で玉露の淹れ方講座等を実施し、後日、パリ在住の宇治茶愛好会メンバーを京都府内の宇治茶の産地に招待するなど、宇治茶のプレミアムブランド化、そして世界遺産の登録へ向け、理解を深めることができた。

そして、平成28年度に続き、京都市観光協会のDMO化に伴い、京都市インバウンド事業を市観光協会へ円滑に移管を進めたところである。

なお、引き続き本法人の会員の皆様へは、これまでと同様のMICE部門と京都市インバウンド事業双方のサービスを継続して提供できるよう、市観光協会と連携を強化し、情報提供を行った。

3 京都迎賓館への支援

京都迎賓館は日本の歴史、文化を象徴する京都で、海外からの賓客をお迎えし、日本への理解と友好を深めていただくことを目的に、オール京都で誘致を進め、赤坂に次ぐ2つ目の施設として平成17年に完成した。

平成29年度についても、オール京都で、国公賓の接遇や東京でのシンポジウムの開催などを行った。

また、平成28年7月からの迎賓館の通年公開に合わせ、来館者を対象とした迎賓館記念グッズの販売を始めたが、平成29年度は初めて年間を通しての実施となり、年間予算額を超える5,400万円を売り上げた。

記念グッズは迎賓館で使われている西陣織と、まったく同じ織物で作った長財布など、京都の著名な企業で製作いただいた工芸品を中心に、京都の企業にオリジナル製品として発注を行っている。

そして、迎賓館英語ガイドツアーの実施に当たっては、市観光協会と連携し京都市ビジターズホストの派遣を行ったところである。

加えて、平成29年9月には京都南ロータリークラブから寄付金を受納し、迎賓館で初めてとなる体験型参観に、同クラブとともに支援を行った。

4 古典の日の推進

「古典の日」の法制化から5周年を迎えた29年度は、11月1日を中心に「古典の日月間」を設定し、「古典の日フォーラム」及び古典の日朗読コンテストの他に、「お茶の京都博」や「東アジア文化都市2017京都」の取り組みと連動して「源氏物語と枳殻邸大茶会」を開催した。

また、「古典の日」ホームページを平成29年5月にリニューアルし、全国に向けた「古典の日」の発信と、催し物等に関する情報（イベントカレンダー）の提供を行った。加えて、「古典の日」に関連する事業を実施する全国の自治体、図書館、文化会館等の団体、個人の情報ターミナルとなる「古典の広場」を開設した。

そして、文化庁の本格移転に向けた取組が進められている中、平成29年4月に文化庁

地域文化創生本部が設立され、本委員会としても、「古典の日」のより一層の普及を目指して、同創生本部と緊密に意見交換や事業連携を行ってきたところである。

部 門 別 概 要

I 文化交流発信事業（公益目的事業）

1 古典の日推進事業

（1）「古典の日」普及・定着のための事業

「古典の日」法制化から5周年を迎えた29年度は、11月1日を中心に「古典の日月間」を設定し、「古典の日フォーラム」及び古典の日朗読コンテストの他に、「お茶の京都博」や「東アジア文化都市2017京都」の取り組みと連動して、「源氏物語と枳殻邸大茶会」を開催した。

①「古典の日フォーラム2017『五周年記念式典』」

1 開催日時 11月1日（水）13：00～16：15

2 開催場所 国立京都国際会館メインホール

3 参加者 1,700名

4 入場料 無料

5 概要

- ・開幕演奏 モーツァルト作曲 行進曲K249
指揮：藏野雅彦 京都市立京都堀川音楽高等学校
- ・古典の日宣言
伊東知穂（第8回古典の日朗読コンテスト大賞受賞）
- ・おことば
彬子女王殿下
- ・演奏 ベートーヴェン作曲 交響曲第5番ハ短調「運命」
指揮：藏野雅彦 京都市立京都堀川音楽高等学校
- ・リレートーク「古典をいただき 古典に抱かれて～私のおすすめ、この一作～」
千玄室大宗匠、宮田文化庁長官、堀木エリ子、山田知事、門川市長、山本宇治市長
コーディネーター：三宅民夫（元NHKアナウンサー）
- ・連続講演Ⅰ「私と古典 ～わが青春の都の風～」
松尾依里佳（ヴァイオリニスト） 聞き手：三宅民夫
- ・連続講演Ⅱ「私と古典 ～古典そして古文書の威力～」
磯田道史（国際日本文化研究センター准教授）



②「第9回古典の日朗読コンテスト」

◇作品募集

- 1 課題作品：一般部門、中学・高校生部門
『源氏物語』第十九帖「薄雲」 『平家物語』巻第七「忠度の都落ち」
『おくのほそ道』「序文」「市振の宿」 『雨月物語』「浅茅が宿」
- 2 応募総数：367作品
〈一般部門〉200作品、〈中学生部門〉82作品、〈高校生部門〉85作品
- 3 審査委員：特別顧問／芳賀徹 審査委員長／菊川徳之助
委員／端田宏三、宮田圭子、三好仁、飯田忠義

◇フォーラム「古典の世界を読む2017」第9回古典の日朗読コンテスト

公開最終審査会と表彰式

- 1 開催日時 11月18日（土）
13:00～15:40
- 2 開催場所 金剛能楽堂
- 3 参加者 342名
- 4 概要



・最終審査会出場者の朗読

〈一般部門〉8作品 〈中学生部門〉3作品 〈高校生部門〉3作品

・世界の詩文朗読

中国語：李白「月下独酌」「将進酒」「山中にて幽人と対酌す」

韓国語：徐居正「煎茶詩」、尹柄謹「詩を書きながら」

日本語：島崎藤村「初恋」、与謝野晶子「君死にたまふことなかれ」、

北原白秋「落葉松」

・中国古箏演奏 伍 芳

・審査発表、表彰式、審査講評

(11月1日、古典の日フォーラムにおいて、第8回古典の日朗読コンテスト中学・高校生部門大賞受賞者が「古典の日宣言」を読み上げ、12月17日（日）全国高校生伝統文化フェスティバルで第8回古典の日朗読コンテスト中学・高校生部門大賞及び京都府高等学校文化連盟会長賞受賞者が朗読を披露した。)

③「源氏物語と枳殻邸大茶会」

東本願寺 渉成園〈枳殻邸〉で、日・中・韓3箇国の大茶会を開催し、参加者においしいお茶でおもてなした。「お茶の京都博」や「東アジア文化都市2017京都」の取り組みと連動し、お茶を通じて各国の文化交流を行った他、会場が源融ゆかりの地であることから、古典の日朗読コンテスト受賞者で結成さ

れた朗読グループ「古都」による『源氏物語』の朗読劇も開催した。

- 1 開催日時 10月9日（月・祝）10：00～17：00
- 2 開催場所 東本願寺 渉成園〈枳殻邸〉
- 3 参加者 370名
- 4 概要

- ・日中韓文化交流茶会
〈日本茶席〉裏千家、裏千家学生茶道研究会
〈中国茶席〉中国政府公認高級茶芸師 唐牛裕子
〈韓国茶席〉ウリ伝統文化協会 尹道心
- ・「～源氏を読む～」朗読グループ「古都」
原文と現代語訳で綴る『光源氏と女性たち』
千年前の発音で読む『源氏物語』



（2）情報発信・広報活動等

- ・「古典の日」ホームページを5月にリニューアルし、全国に向けた「古典の日」の発信と、催し物等に関する情報の提供（イベントカレンダー）を行った。また、古典の日に関連する事業を実施する全国の自治体、図書館、文化会館等の団体、個人の情報ターミナルとなる「古典の広場」を開設した。今後、団体間同士の情報交換、連携の場となるネットワークを構築する。
〈古典の広場〉会員登録件数：65件
〈イベントカレンダー〉登録件数：125件

- ・「古典の日に関する法律」制定5周年記念ポスター及びパンフレットの作成
全国の文化施設及び全国図書館、美術館等（3,552件）でのポスター掲示をお願いし、「古典の日」の更なる全国普及を行った。
デザイン：久谷政樹（グラフィックデザイナー）
制作数：[B1]200枚 [B2]4,000枚



（3）共催事業

- ・古典の普及に貢献している他団体との共催事業として、福井県越前市の紫式部顕彰会との共催で「第30回源氏物語アカデミー」（10月20日（金）～22日（日）、参加者：1,540名／3日間延べ）、NHK文化センター京都教室との共催で連続対談「平安王朝文化の魅力」（5回／計352名）、有斐斎弘道館との共催で「百人一首をテーマとする京菓子公募」を実施しました。

多くの方が古典に親しむ機会が増えることを目的に今後もこうした取り組みを積極的に進めていきます。

(4) 共催、後援、ロゴ・シンボルマークの使用許可申請数（平成30年3月31日現在）

- ・共催：4件
- ・後援：31件
- ・ロゴ・シンボルマーク：33件

(5) 「古典の日」普及・推進活動及び広報活動等

1 ホームページ

- ・アクセス数 24,605件（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

2 媒体広告

- ・京都新聞 朝刊挟込「一日版」9月号（9/1）
- ・京都新聞夕刊一面3段1/2カラー（8/28）
- ・読売新聞大阪本社版 夕刊5段1/2モノクロ（8/23）
- ・読売新聞大阪本社版 夕刊（9/8）
- ・京都市観光情報誌 京ごよみ 10月号 表2（8/25）
- ・京都新聞 朝刊挟込「一日版」キーワードきょうと（11/1）
- ・京都新聞 朝刊見開き 採録特集（11/25）

3 関係機関広報ツール

- ・府民だより
- ・京都市民しんぶん
- ・宇治市政だより
- ・文化庁関西元気文化圏ホームページ（文化カプロジェクト）
- ・東アジア文化都市2017京都イベントガイド（04-OCT）

2 京都迎賓館支援事業

(1) 京都迎賓館でもてなした外国賓客

計 11 件

- ① ASEAN経済大臣一行 平成29年4月7日
- ② ラグビーワールドカップ2019日本大会プール組分け抽選会に係る在京大使一行
5月10日
- ③ エジプト・アラブ共和国代議員議長一行 5月20日～21日
- ④ チェコ共和国首相一行 ※ 6月29日～30日
- ⑤ ミャンマー連邦共和国国軍司令官一行 8月5日～6日
- ⑥ 日中韓文化大臣会合一行 8月25日～26日
- ⑦ 英国首相一行 8月30日～31日
- ⑧ ミャンマー下院議長一行 11月29日～12月1日
- ⑨ ミャンマー連邦大統領夫妻一行 ※ 12月15日～16日
- ⑩ モザンビーク共和国国民会議議長一行 平成30年2月8日～9日
- ⑪ BIE調査団長・事務局長一行 3月7日

※：地元・京都が主催した接遇

<これまでの接遇件数>

年 度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
接遇件数	8	11	15	9	10	10	12	5	7	9	13	11

(2) もてなし・しつらいプロデュース事業

京都迎賓館における賓客接遇等の際、しつらいの一つとして活用するいけばな文化の継承・発展のためいけばな協会への支援を行った。

また、迎賓館の賓客接遇に際して、京都府京都文化博物館、京都市美術館、京都府立堂本印象美術館等のご協力により、地元美術工芸品の借用を行った。

(3) 京都迎賓館一般公開への支援事業

ア 期 間：一般公開：平成29年4月1日（土）～平成30年3月31日（土）

※ 接遇に支障のない範囲で通年公開

イ 支援事業

(ア) 京都迎賓館一般公開にかかる PR チラシ (A4)、ポスター (B1、B2) を制作し、観光案内所や交通機関にて掲示及び配布した。

ポスター：200部、チラシ：10,000部

(イ) 京都観光・文化情報コーナーを設置し、府、市、商工会議所等の資料を配布した。

(4) 京都伝統技能・文化発信事業

「京都迎賓館シンポジウム」の開催

ア 開催日：平成29年5月27日（土）

イ 会場：東京・イイノホール
（東京都千代田区）

ウ 参加者：400名

エ 概要

◇文化披露

芸舞妓による舞踊披露（祇園甲部歌舞会）

◇基調講演

テーマ 「京都迎賓館～和のおもてなしとは～」

講師 安藤 昌弘氏（元 内閣府迎賓館館長）

◇パネルディスカッション

テーマ 「京都にいきるおもてなしの技とところ 世界へ」

コーディネーター 中村 昌生氏（京都工芸繊維大学 名誉教授）

パネリスト 安藤 昌弘氏（元 内閣府迎賓館館長）

下出 祐太郎氏（京蒔絵師、伝統工芸士）

高橋 英一氏（京料理「瓢亭」14代目当主）



(5) 体験型参観の開催支援

ア 開催日：平成29年9月4日（月）、5日（火）

イ 会場：京都迎賓館

ウ 参加者：600名

エ 概要

◇能楽鑑賞（金剛流）

◇呈茶（裏千家）

◇重陽の節句に合わせたいけばなの設え（京都いけばな協会）

◇館内視察

※ 協力：南ロータリクラブによる人的・財政的な支援



（能楽鑑賞（菊慈童）：金剛流）



（呈茶：裏千家）

3 京都創生フォーラム事業

(1) 運営委員会・連絡会の開催

① 運営委員会

日 時：平成29年4月27日（木） 午後10時～11時30分

場 所：京都商工会議所 第3会議室

議 事：平成28年度の活動について（報告）

平成29年度の活動について（提案）

各運営団体の京都創生に関する取組について（情報交換）

② 連絡会

日 時：平成29年7月21日（金）午後1時30分～2時30分

場 所：京都商工会議所 第1会議室

議 事：7月27日シンポジウムの運営について

(2) 京都創生フォーラム「シンポジウム」の開催

日 時：平成29年7月27日（木）午後1時30分～4時

会 場：ロームシアター京都 サウスホール

参加者：580人

内 容：

・オープニング

狂言「因幡堂」

茂山 宗彦氏

茂山 童司氏

・総 会

挨拶 立石 義雄（フォーラム代表・京都商工会議所会頭）

門川 大作（京都市長）

・パネルディスカッション

「京都から考える日本文化の多様性と地方創生」

コーディネーター

宗田 好史氏(京都府立大学副学長)

パネリスト

小松 和彦氏 (国際日本文化研究センター所長)

佐伯 順子氏 (同志社大学大学院社会学研究科教授)

佐藤 洋一郎氏(人間文化研究機構理事)

森 正美氏 (京都文教大学総合社会学部教授)





(パネルディスカッション)

(4) 京都創生PRの実施

① 京都創生PRポスター「日本に、京都があってよかった。」

発行時期：第29弾 平成29年11月16日発行

：第30弾 平成30年 3月15日発行

仕 様：B1判・B2判・B3判・B3ワイド判（地下鉄用）

発行部数：ともに、 5,000部

配 布 先：全ての市バス・地下鉄の車両、地下鉄全駅、市内の私鉄駅、
市内金融機関、市内郵便局、市関連施設、市内ホテル、
市内の大学構内、首都圏の旅行代理店、京都に修学旅行を
予定する全国の小中学校・高校、「京あるき in 東京」の参
画企業店舗など

② 広報誌「京都創生」第17号・第18号

発行時期：第17号：平成29年12月 6日

第18号：平成30年 3月30日

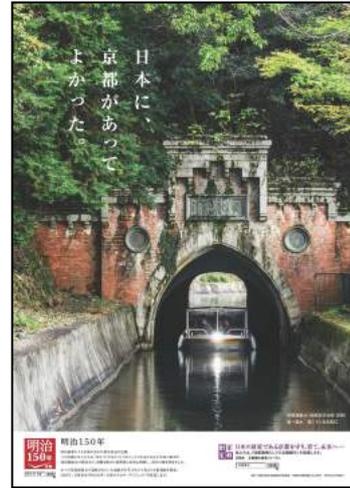
仕 様：ともに、A4版4頁

発行部数：ともに、8,000部

配 布 先：京都創生推進フォーラム会員・京都府及び京都市関係機関・
運営団体等



(第29弾 (夜の京都の光と影が織りなす付まい))



(第30弾 (明治150年))

③ 京都市交通局と協働でポスター図案を用いたカードを発行

第29弾：平成30年1月27日発行

「地下鉄1 day フリーチケット」…8万枚

第30弾：平成30年6月(予定)

「トラフィカ京カード」…5万枚(予定)

(5) 「京都創生連続講座 in 東京」 京都創生連続講座の実施

日 時：平成30年2月23日(金)

第1部…午後1時～3時

第2部…午後4時～6時

会 場：実践女子大学渋谷キャンパス

創立120周年記念館

参加者：第1部270人、第2部300人

内 容：

- ・ 第1部 京町家トーク「京都のまちなみと暮らしの文化」
京都創生の取組報告
「京町家まちづくりファンド」の取組紹介
説 明 梶山 真樹氏 (公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター事務局長)
基調講演「老舗の主人が語る京都の魅力：ご先祖様とともに過ごす心と暮らしの文化」
講 師 畑 正高氏 (香老舗 松栄堂 主人)
対談「京都の魅力～京都のまちなみと暮らしの文化～」
話し手 畑 正高氏 (同上)
聞き手 矢ヶ崎善太郎氏 (京都工芸繊維大学大学院 准教授)
- ・ 第2部 「古典の日」制定五周年記念～親子でつなぐ古典の世界～
京都創生の取組報告
「古典の日」について

説 明 山本 壯太氏 (古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサー、元NHK京都放送局長)
筑前琵琶演奏「那須與市」
演奏 田中旭泉氏 (橘流 日本橘会)
酒井自然氏 (東海中学校一年生、田中旭泉氏長男)
講演「千年の色を紡ぐ 染司よしおか」
講師 吉岡幸雄氏 (染師・染織史家・「染司よしおか」五代目当主)
吉岡更紗氏 (「染司よしおか」六代目)



(筑前琵琶演奏 那須與市)



(講演)

(6) 京都創生 PR 事業「京あるき in 東京 2018」の実施

京都市、京都商工会議所、京都市観光協会とともに、第8回目となる「京あるき in 東京」を実施した。

総合テーマ：京まなび～知ると日本がもっと好きになる～

概要：京都ゆかりの企業・大学・団体の参画のもと、首都圏で京都の魅力を発信する催しを集中的に実施

期間：平成30年2月3日(土)～3月11日(日)

事業数：116(前回：111)

参画団体数：246(前回：220)

[京都創生推進フォーラムの活動内容]

- ・「京都創生連続講座 in 東京」の実施(再掲)
- ・京都創生パンフレットの配布
- ・PRポスター「日本に、京都があってよかった。」の掲出
- ・PRポスター「日本に、京都があってよかった。」第29弾特大パネルをオープニング会場に設置

(7) 京都創生推進フォーラムホームページによる情報発信

- 各会員の活動情報を閲覧・掲載
- 新規会員の登録
- トピックスはシンポジウム等の情報や、今後の開催案内を掲載
- 広報誌やポスター等の広報物を紹介

※ 平成29年度年間ホームページアクセス件数 52,896件

《月別HPアクセス件数》

月	件数	月	件数
4月	3,154	10月	3,936
5月	2,751	11月	4,472
6月	3,371	12月	4,721
7月	4,402	1月	5,258
8月	3,485	2月	7,004
9月	3,994	3月	6,348
		合計	52,896

(8) 京都創生推進フォーラム会員管理

会員数	企業・団体	個人	合計
期首	428	455	883
減少	8	24	32
増加	0	36	36
期末	420	467	887

入会は、ホームページやシンポジウム等の参加を通じて実施
退会は、本人逝去や事務所閉鎖等によるもの

Ⅱ 国際観光コンベンション事業（公益目的事業）

1 コンベンション(MICE)事業

平成29年の京都での国際会議開催実績は、対前年比大幅に増加し、335件となり、4年連続で過去最高となった。

また、29年度には、第27回国際複素環化学大会（2019年、1,100人参加見込

み)、第 84 回日本循環器学会学術集会(2020 年、12,000 人参加見込み)、第 28 回国際神経化学会大会(2021 年、1,500 人参加見込み)、第 16 回国際脳神経血管内治療学会(2021 年、2,500 人参加見込み)、国際生物物理学会(2023 年、1,500 人参加見込み)、第 22 回固体セラ・アクチエタ・マイクロシステム国際会議(2023 年、1,000 人参加見込み)等の大型国際会議の京都開催が決定した。

(1) プロモーション事業

① 海外プロモーション活動

本年度は、IMEX と IBTM の 2 つの海外展示会に初めて京都の単独ブースを設け、京都の事業者 5 社と出展した。

※【京都ブース共同出展者(順不同)】

グランドプリンスホテル京都、ホテルグランヴィア京都、
JTB 西日本 MICE 事業部、京阪ホテルズ&リゾート、国立京都国際会館

(ア) [IMEX in Frankfurt 2017 出展]

(平成 29 年 5 月 16 日~18 日 ドイツ・フランクフルト)

(イ) [IBTM World 2017 出展]

(平成 29 年 11 月 28 日~30 日 スペイン・バルセロナ)

② 国内プロモーション活動

[IME(国際ミーティング・エキスポ)2018 出展]

(平成 30 年 2 月 28 日 京王プラザホテル)

※京都市勧業館「みやこめっせ」、東映太秦映画村、
ワックジャパンの 3 社とチーム京都を構成し出展



(2) 開催支援事業

① 政府関連特定会議等の京都開催の運営協力

[第 14 回科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STS フォーラム)]

公開シンポジウム 平成 29 年 9 月 30 日 京都商工会議所講堂

歓迎レセプション 平成 29 年 10 月 2 日 建仁寺

京都エクスカースョン 平成 29 年 10 月 2~3 日 2 コース計 32 名参加

※今回のエクスカースョンにおいても、前回に引き続き「京都伝統産業ふれあい館」と連携し、国際会議参加者及び同伴者向けのメニューとして、STS フォーラム参加者に伝統工芸体験(摺型友禅染)の機会を提供。また、平成 28 年 8 月に制度化さ

れた「京都市ビシターズホスト」との連携により、STS フォーラム参加者に「京都品質」の通訳サービスを提供した。

② 京都スマートシティエキスポ 2017、2018 への運営協力

けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）等において、平成 29 年 9 月に開催された京都スマートシティエキスポ 2017、及び平成 30 年 10 月開催予定の京都スマートシティエキスポ 2018 について、準備委員会や運営協議会、事業者選定会議など積極的に京都府担当課と連携するとともに、助成金支出等の開催後方支援を行った。

③ M I 案件の開催支援

京都の都市格に相応しい国内外大手企業が主催するミーティング（M）、インセンティブ（I）の京都開催を支援した。5 月には、世界的なファッションブランドであるルイ・ヴィトンが市内の寺社にてディナー、翌日、滋賀県でファッションショー、その後、祇園の新橋通で国際交流会を開催。



この国際交流会は、京都府、京都市の後援のもと、本年 60 周年を迎える京都市・パリ市友情盟約締結のイベントとして位置づけられ、京都が有する文化や歴史、芸術の魅力を世界各国のプレスやインフルエンサーから広めていただくため、京都の風情を残す新橋通を会場として開催された。

さらに世界的な宝飾ブランドのイベントも京都で開催されるなど、これらのラグジュアリーブランドの取組をはじめ、企業ミーティングやインセンティブツアーの誘致や開催支援に取り組んだ。

また、海外大手 PCO アライアンス「INCON」の理事会を誘致し、市内視察や PCO 各社の経営幹部と賛助会員との意見交換の場を設けるなど、MICE デスティネーションとしての京都の魅力を PR した。

④ オフサイト・レセプション等の企画・提案

開催地ならではのユニークな施設・会場(オフサイト・レセプション)の企画・提案を積極的に行った。またインバウンド・プロモーション課の事業と連携し、共同でユニーク・ベニュー開発に取り組むことによって新たな施設との連携が強化された。

⑤ 観光庁 MICE 誘致・開催プロジェクトマネジメント力強化支援事業の実施

平成 25 年から 28 年の「グローバル MICE 都市支援事業」に続き、さらに誘致能力を高め、誘致・開催のプロジェクト全体マネジメントがさらに高いレベルで可能となるよう海外コンサルティング会社のコンサルティングを受けた。

(3) 各種会議支援サービス制度の運用状況等

① 助成金

(ア) 京都市大規模国際コンベンション開催支援助成金の活用

[申請案件(平成 29 年度申請(認定)分)]

会議名	参加者	開催予定年度	認定額 (万円)
第 27 回国際複素環化学大会	1,100 人	平成 31 年度	200
第 84 回日本循環器学会学術集会	12,000 人	平成 31 年度	300
第 5 回斜面防災世界フォーラム	600 人	平成 32 年度	150
第 28 回国際神経化学学会大会	1,500 人	平成 33 年度	300
第 16 回国際脳神経血管内治療学会	2,500 人	平成 33 年度	300
国際生物物理学会	1,200 人	平成 35 年度	300
第 22 回固体セラミックス・マイクロシステム国際会議	1,000 人	平成 35 年度	300

[平成 29 年度交付案件]

会議名	参加者	開催年度	交付額 (万円)
第 32 回国際アルツハイマー病協会国際会議	3,941 人	平成 29 年度	400
第 15 回国際材料研究学会連合 先進材料国際会議	1,878 人	平成 29 年度	250

(イ) 京都市大規模国際コンベンション誘致支援助成金の活用

[申請案件(平成 29 年度申請・交付分)]

会議名	参加者	開催予定年度	交付額 (万円)
国際生物物理学会	1,200 人	平成 35 年度	42
国際細胞外小胞学会 (ISEV2019)	1,000 人	平成 31 年度	5
第 9 回世界緑内障学会 (WGC2021)	2,800 人	平成 32 年度	21

(ロ) 京都市中・小規模 MICE 開催支援助成金の活用

利用件数：42 件 支援金額：4,375,000 円

(I) 京都市「京都らしい MICE 開催支援補助制度」の活用

利用件数：77 件（うち伝統産業製品 30 件（文化プログラムとの併用 15 件を含む））

支援金額：14,656,701 円

（うち伝統産業製品購入 5,838,331 円 ※年々伝統産業品の購入が拡大）

(オ) 京都府「京都府 MICE 開催支援助成制度」の活用（平成 28 年度新規）

利用件数：18 件

（うちコンベンション支援 8 件、分科会支援 2 件、エクスカージョン支援 8 件）

支援金額：2,429,725 円

② その他の支援サービス

(ア) 京都コンベンション・パス（地下鉄・市バス特別乗車券）の発行

利用件数：4 件 発行金額：4,535,400 円

(イ) 京都イメージバンクの活用

利用件数：73 件

(ロ) 公開シンポジウム等広報支援制度

利用件数：2 件

(ハ) 京都開催 PR 用バナー貸出制度

利用件数：4 件

(ニ) プロモーション DVD の貸出・提供

利用件数：4 件

(ホ) 京都市 MICE デスティネーション PR 映像の貸出・提供

利用件数：33 件

(ヘ) 各種広報印刷物等の提供

利用件数：113 件

京都観光案内地図（日英併記）ほか

(4) 広報宣伝事業

① メールマガジン（MICE 課ニュースレター）の発行

国内外商談会、視察、問合せ等で接触する国内外のミーティングプランナー、MICE 主催者に対し、定期的に京都の MICE 関連情報を発信することにより、京都での MICE 開催を意識させ、京都への MICE 誘致促進につなげるため、平成 28 年 7 月より新たにメールマガジンの配信を開始した。

② ホームページによる京都における MICE 関連情報の発信

国内外の MICE 主催者・参加者に対し、MICE 開催都市「京都」の情報発信を行うため、世界中の国際会議や国際学会の主催者や事業者、加えて京都市内の大学関係者

の皆様の利便性向上を図った。

(5) MICE 関連情報の調査・収集・検討

① 情報の収集

観光庁、日本政府観光局(JNTO)、日本コンgres・コンベンション・ビューロー(JCCB)、ICCA (International Congress and Convention Association 国際会議協会)をはじめ関係団体との積極的な交流を図り、MICE 関連情報の収集に努めた。また各種の海外見本市への参加等を通じて国際的な MICE プレーヤーとのネットワーク強化と情報収集を図った。

② 環境に配慮した MICE 都市の世界的取組への参画

環境にやさしい国際会議の開催を目指して、コンベンションや見本市に関する国際的機関が立ち上げた組織である GDS Index (Global Destination Sustainability Index) に、平成 28 年 7 月にアジアで初めて参画し、「環境に配慮した持続可能な MICE 都市」としての位置付けの強化に努めている。

今年度は高い評価を受け、国際的な見本市や MICE 業界誌で京都のサステナビリティが大きく取り上げられた他、GDS Index 加盟都市から開催地を選ぶ MICE の誘致も成功した。

③ 京都大学との協力による国際会議推進

「京都市と京都大学との国際学術都市としての魅力向上に関する連携協定書」(平成 27 年 8 月締結)に基づき、京都大学と国際会議の推進に関する協議等を継続して実施している。また、各学部の教授会や、研究支援組織の会合等、様々な機会を捉えて、支援施策の PR を行うとともに情報収集に努めている。

④ 京都府警との連携

府警本部警備部と当ビューローの間で平成 27 年 3 月に締結した「京都をテロから守る連携協定」に基づき、安心して参加できる国際会議都市・京都のステイタスを維持するため情報交換・情報発信を継続して実施している。

⑤ 統計調査・発行

国際会議統計「2016 京都で開催された国際会議」発行

2 国際観光プロモーション事業

(1) 重点市場に於けるインバウンドマーケティング事業 海外情報拠点管理運営事業（京都市委託事業）

ニューヨーク、台北、ソウル、上海、シドニー、パリ、ロンドン、ランクフルト、香港、ドバイに加え、平成29年4月から新たにクアラルンプールに拠点レップ窓口を設置し、京都の旬の情報を毎月発信するとともに、現地マーケティング活動を年間通じて実施。また、各拠点担当者が一堂に会しての市場説明会を平成29年5月に開催した。



(2) 特定市場/ターゲットに対するインバウンドマーケティング事業

① 海外富裕層市場への取組事業

平成28年度から、京都市が中心となり、富裕層の観光客誘致に戦略的な取り組みを目指す自治体による連携関係を構築するものとして、「日本ラグジュアリートラベルアライアンス」を設立した。本年度は、富裕層を顧客に持つ欧米豪の旅行会社を招聘し、アライアンスに参画する各地域の視察を行うとともに、富裕層を対象としたイベントとして、最も影響力のあるインターナショナル・ラグジュアリー・トラベル・マーケット（ILTM）に参画し、当アライアンスの設立を紹介するなど、京都を中心としてプロモーションを実施した。

（視察）

- ・コース1（石川県ー京都市）

平成29年10月30日～11月3日



- ・コース2（和歌山県－奈良市－京都府）

平成29年11月6日～11日

- ・コース3（京都市－札幌市）

平成30年2月5日～9日

（商談会）

- ・ATM（ドバイ）

平成29年4月24日～4月27日

- ・ILTM Canne（フランス：カンヌ）平成29年12月5日～8日

② 新規市場への取組

今後の訪日旅行者の増加が見込まれるムスリム市場向けに、受入環境の整備や情報発信等事業を展開した。

- ・ムスリム観光客向けウェブサイトの運営
- ・市内事業者と連携したハラール対応レストランや礼拝スペースの整備推進

③ 京都市域内統計収集・分析強化

当ビューローが主体となり、京都市域のステークホルダーの協力を得て、営業状況や稼働状況等に関する定期的な統計調査を行った。（国籍別の宿泊状況を毎月調査 30ホテル⇒37ホテル）

また、世界最大のホテルデータサービス提供会社であるSTRグローバルと、日本の観光関連機関との連携のもと、市内ホテルの客室平均単価（ADR）等の情報を国内外主要都市と比較するなどの情報分析を行った。

④ マーケティング強化（ホテル誘致関連）

宿泊キャパシティ拡大の課題に取り組む糸口として、世界のホテル投資家が一堂に会する国際会議（アジア太平洋ホテル投資セミナー／HICAP@香港やJLL不動産&ホテル投資フォーラム@東京）等に参加。また、国内外のホテルオペレーターやディベロッパーとも継続的にヒアリングや意見交換を実施した。

（3）プロモーション・情報発信事業

① ウェブサイトの運用事業（京都市補助事業）

日本国内の自治体で最多となる13言語で外国人観光客向けのウェブサイト「Kyoto Official Travel Guide」で観光情報を発信した。

使用言語：英語，フランス語，中国語・繁体字，中国語・簡体字，韓国・朝鮮語，ドイツ語，スペイン語，イタリア語，アラビア語，トルコ語，タイ語，マレー語，ロシア語

ページビュー数 5,015,049（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）
※ 前年比 96%

② チケット等販売システムの構築と販売実証事業

平成 29 年度は近畿運輸局とともに、「外国人向け観光・文化イベント入場券等販売システム構築・運営に向けた実証事業」を実施し、市内で開催されるイベントのチケットや体験コンテンツをウェブ上で販売した。

- 販売実証期間：平成 29 年 10 月 12 日～12 月 15 日（約 2 か月間）
- 売上件数：50 件（祇園をどり、ギア、ギオンコーナーなど）
- 売上金額：146,200 円
- 課題整理：事業者の意識改革、掲載コンテンツの質の向上、システムのユーザビリティの追求、広報・集客手段の確立、費用負担など
- 実験の考察：本販売システムを訪日外国人旅行者に対して認知をさせ、効果的に運用するためには、プラットフォームである「KYOTO OFFICIAL TRAVEL GUIDE」自体のトラフィック向上、参加事業者のシステム利用参画意識の向上、日々の商品在庫管理といった要素が必要不可欠であり、現段階では発展途上の段階である。これらの状況を踏まえ、本販売システムの本格運用は平成 31 年度以降を想定し、準備作業を行う。

③ Expedia との連携

平成 29 年 9 月 27 日に京都市の宿泊客数・宿泊日数の増大を図るとともに、旅館・ホテル等宿泊施設の魅力向上、京都ブランドの発信による観光振興を通じ、京都市の地域活性化に取り組むため、世界 75 箇国以上、35 言語で Expedia.com® や Hotels.com® など 200 以上のオンラインサイトを展開する世界最大級のオンライン旅行会社、エクスペディアグループと地域活性化包括連携協定が締結された。



本協定に基づき、当ビューローが運営する京都観光ウェブサイト「Kyoto Official Travel Guide」のトップページにエクスペディアのブランドの一つである Hotels.com® の宿泊施設の検索・予約機能を設置し、宿泊先の選択がトップページから可能となった。

④ ソーシャルネットワークの運用事業（京都市補助事業）

- **Facebook ページの運用**

ソーシャルネットワークの最大手である Facebook に於いて「Visit Kyoto」ページを継続展開した。いいね数：48件⇒52万件

- **Instagram の運用（平成28年7月～）**

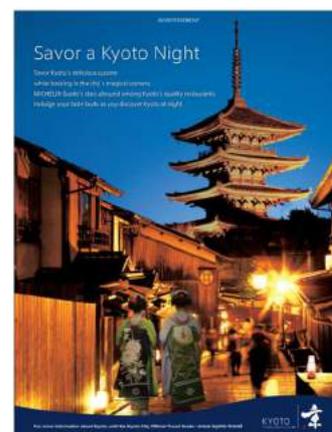
写真や動画の共有に特化したソーシャルネットワーキングサービスである Instagram の公式アカウントを運用した。

⑤ **海外メディア取材誘致・露出強化事業（京都市委託事業）**

海外における有カメディア（新聞、雑誌、テレビ、ウェブサイト等）の招請、取材誘致・受入を実施。担当スタッフの増強を行うとともに、日本政府観光局（JNTO）や近畿運輸局、他都市や航空会社等と積極的な連携を図り、マーケット及び費用対効果を意識した PR 活動を展開した。

支援件数 57 件（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）

また、海外の有力旅行誌である「トラベル・アンド・レジャー」誌（アメリカ）及び「ワンダーラスト」誌（イギリス）に高品質な旅行先である京都を紹介するため、広告を行った。



⑥ **世界における有力旅行誌での評価**

- 「**トラベル・アンド・レジャー**」誌で**6年連続ベスト10**に選出

世界で最も影響力のある旅行雑誌のひとつ「トラベル・アンド・レジャー」誌の読者投票「ワールドベストシティアワード」において京都は平成26年、27年と2年連続で世界1位に選出されるとともに、6年連続でベスト10にランクインしている。

- 「**コンデ・ナスト・トラベラー**」誌で**世界第2位の人気都市**に選出

アメリカで最も権威のある旅行雑誌の一つ「コンデ・ナスト・トラベラー」誌の読者投票ランキング「Readers' Choice Awards」の世界で最も魅力的な都市を決める「The Best Cities in the World」において、第3位に

選ばれた。

・「ワンダーラスト」誌で第1位に選出

イギリスの有力旅行雑誌「ワンダーラスト」の読者投票において、ベストシティ部門で京都が2年連続第1位に選出された。

⑦ 海外における旅行博・商談会・セールスコール事業

賛助会員の参加も得て、以下の旅行博等に出展・参画した。

平成 29 年 9 月	東京	VISIT JAPAN トラベルマート
平成 30 年 3 月	ドイツ・ベルリン	ITB

(4) 外国人旅行客受入体制構築支援事業（京都市観光協会との共同事業）

① 外国人観光客向け多言語コールセンター運営事業

外国人観光客の満足度向上とセーフティネットの構築等を目的に、24 時間年中無休の多言語コールセンターを運営し、宿泊施設を対象に 5 言語による電話通訳サービスを提供した（京都府、京都市、滋賀県、大津市、奈良市との共同事業）。

② 外国語研修実施事業（京都市補助事業）

飲食店や旅館業、小売店・伝統産業の従事者を対象に、初心者向け外国語研修を実施した（英語 24 回・中国語 16 回）。

③ 免税対応支援事業（京都市補助事業）

多言語コールセンターによる電話通訳サービスの提供やセミナーの開催、メルマガの配信など、多岐にわたる免税店支援事業を継続展開するとともに、ウェブサイトにおける免税店情報の発信を強化した。

＜京都市内の免税店数＞

平成 26 年 4 月現在 178 件

平成 30 年 10 月現在 1,450 件（約 8 倍増）

④ クレジットカードの買い物環境整備支援事業

大手クレジットカード会社「ビザ・ワールドワイドジャパン」と連携し、アクセプタンスマークの掲出強化を図るとともに、嵯峨嵐山地域の商店街等において、外国人観光客を対象とするショッピングキャンペーンを実施した。



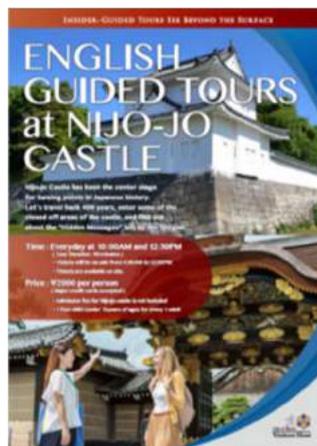
⑤ 京都市認定通訳ガイド育成事業（京都市委託事業）

京都観光の専門知識を身に付け、外国語で京都の奥深い魅力を伝えることができる京都市独自の通訳ガイド「京都市ビジターズホスト」の育成事業を実施した。昨年度の第1期生56名に続き、第2期生53名を認定。



⑥ ガイドツアー造成事業（京都市補助事業）

京都市ビジターズホストを活用し、京都迎賓館や二条城、京都御所周辺や東山界隈において、文化財や伝統産業、商店街と観光を結び付けるガイドツアーを開発・造成した。



3 広域プロモーション事業

(1) 宇治茶プレミアムブランド化事業（お茶の京都 DMO 委託事業）

京都府と山城地域全市町村等により設立された『お茶の京都 DMO』の事業として、宇治茶産業の振興を目的とした、宇治茶のプレミアムブランド化（高付加価値化）に取り組んだ。

① 海外プロモーションの実施

平成29年11月、フランス・パリにおいて、宇治茶の愛好・応援のネットワーク組織『Association du thé Uji』（宇治茶愛好会：平成28年設立）メンバーを中心に以下のプロモーションを展開し、情報発信力の高い各界を代表する方々や三ツ星レストランのシェフ等に宇治茶の価値を理解していただくとともに、パリでの日常生活における宇治茶の楽しみ方を共有していただき、宇治茶の魅力を発信した。

・ 宇治茶プレミアムウィーク企画展

アトリエブランマントにおいて、「宇治茶プレミアムウィーク」と銘打ち、茶師による抹茶・煎茶・玉露の淹れ方デモンストレーションや試飲、茶臼挽き体験、歴史的な生産道具類の展示、大正時代の茶摘み風景や生産工程の動画放映等を実施し、料理・メディア関係者など多くの方々に宇治茶の認知拡大に努めた。



・ とらや和サロン「宇治茶」

とらやパリ店において、「玉露の淹れ方講座」を開催し、茶師から玉露の淹れ方の解説、レクチャーを行い、参加者自らが淹れ方を体験し豊かな味わいを経験していただくことにより、宇治茶への関心及び理解の深化を図った。



- 『Association du thé UJI』メンバーによる茶会

『Association du thé UJI』メンバーのご自宅において、同メンバーを招待する茶会を開催した。ホストご夫妻による玉露の振る舞いのほか、副知事より宇治茶の歴史や文化のレクチャー、また茶師により抹茶が振る舞われ、パリでの日常の宇治茶の楽しみ方等について意見交換を行い、より一層の宇治茶への理解を深めることができた。



② 宇治茶の郷への招へい

『Association du thé UJI』会長を宇治茶の産地にお招きし、茶畑景観、生産現場の視察や茶業関係者との意見交換を行うことにより、宇治茶の価値への理解をさらに深め、宇治茶のプレミアムブランド化及び世界遺産の登録など、世界に向けた発信を期待した。



Ⅲ その他の事業（公益目的事業）

1 ホームページの運用

ホームページに「What's NEW」のコーナーを設け、当ビューローからの最新情報や関連行事等のタイムリーな情報の提供に努めた。

また、「文化発信事業」サイトをより見やすくするためのリニューアルを行った。

2 会報誌「京都文化交流コンベンションビューロー通信」発行

ア 仕様：A4版、4頁（オールカラー）

イ 作成部数：1,000部

ウ 発行回数：年4回（4月、7月、10月、1月）

エ 配付先：賛助会員・関係団体 ほか

3 関係団体との連携等

（1）「京都花灯路」・「京の七夕」への参画

関係団体と連携し、「京都花灯路」や「京の七夕」へ主催者団体や実行委員会の一員として参画し、地元京都の観光振興に取り組んだ。

①嵐山花灯路

平成29年12月8日（金）～17日（日）

来場者数：114万2千人（今回13回目の開催）

②東山花灯路

平成30年3月9日（金）～18日（日）

来場者数：101万人（今回16回目の開催）

③京の七夕

平成29年8月2日（水）～16日（水）（今回8回目の開催）

来場者数：80万人

（2）時代祭におけるメッセージ発信

「時代祭」（10月22日）は台風21号の影響により29年ぶりの中止となった。

Ⅳ 共益・収益事業

1 賛助会員制度の運営

(1) 新規勧誘の促進

当ビューローの設立趣旨及び事業等に対する理解者・支援者の拡大を図るため、新たな賛助会員の加入促進に努めた。

ア. 新規加入会員（20社200）

会 員 名
キッチン有限公司
株式会社レオタニモト
株式会社俵屋吉富
グーグル合同会社
KOTOWA京都八坂（株式会社ディアーズ・ブレイン）
京都観光企画株式会社
NPO法人 衣紋道 雅ゆき
京料理 清和荘
有限会社 いはら田（京美膳）
一般社団法人里山デザイン
株式会社桜花爛漫
株式会社中山徹デザイン事務所
Ami Kyoto
ダイワロイヤルホテル グランデ京都
株式会社ひらまつ
フォーシーズンズホテル京都
株式会社グラフィック
株式会社レイ
リリーレース・インターナショナル株式会社

イ. 退会会員（22社360）

会 員 名
株式会社地域ブランディング研究所
株式会社福井弥右衛門商店
公益財団法人 日本財団
株式会社新山（料亭 京新山）
株式会社ラフェスタ

株式会社北井
コートホテル京都四条
株式会社トラベリエンス
株式会社スタンディング・オン
一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会
株式会社ワックス・カンパニー
京都 雲楽窯
株式会社エーワン
株式会社宮帯
株式会社J&J事業創造
みんなの外国語検定協会
株式会社JTBビジネスイノベーターズ
グローバルブルーティエフエスジャパン株式会社
京都ロイヤルホテル&スパ
きょうと和み館
株式会社コンセント
大阪ガス株式会社

<賛助会員数の推移>

年度別	会員数	口数
平成20年度末	264	384
平成21年度末	257	374
平成22年度末	255	367
平成23年度末	244	356
平成24年度末	289	507
平成25年度末	297	517
平成26年度末	337	562
平成27年度末	370	601
平成28年度末	398	629
平成29年度末	396	608

(2) 会員に対する情報提供やサービス事業の実施

文化交流発信及びMICE・インバウンド推進に関連する、有効な情報の提供・斡旋・紹介等、また、共同プロモーション事業の実施、各種コンサルティング等会員企業へのサービス事業を実施した。

(3) 「会員の集い」の開催

京都のMICE・インバウンド関連業界の連携を図り、産学公オール京都の力を結集して、MICE及びインバウンドの誘致・誘客・振興の取組がより円滑に実施できるよう、情報交換と会員相互のネットワーク強化を図るため「会員の集い」を開催した。

ア 日 時：平成30年1月31日(水)午後6時～午後8時

イ 場 所：ホテルグランビア京都 3階「源氏の間」

ウ 参加者：賛助会員 637名(過去最高)

2 「京都文化振興友の会」の運営

京都文化振興友の会会員に対して、京都府・京都市・京都商工会議所及び関係団体が主催する催事等に係る情報を提供した。

会員数：103名(平成30年3月末)

3 京都迎賓館記念品の販売

京都迎賓館参観実施等に併せ、参観記念品を販売した。

参観実施時

ア 時 期：平成29年4月1日～3月31日

※ 接遇に支障のない範囲で公開(開館日数：236日)

イ 記 念 品：販売客数：25,645名 売上点数：51,413点

- | | |
|---------|--------------------|
| ①メモ帳 | ②一筆箋(縦書・横書) |
| ③あぶらとり紙 | ④クリアファイル(藤の間、夕映の間) |
| ⑤写真はがき | ⑥京都迎賓館伝統技能DVD |
| ⑦懐紙 | ⑧ポーチ |
| ⑨ブックカバー | ⑩コースター |
| ⑪長財布 | ⑫京うちわ |
| ⑬風呂敷 | ⑭和ろうそく |
| ⑮塗り箸 | ⑯御朱印帳 |
| ⑰小銭入れ | ⑱トートバック |
| ⑲ぐい呑み | ⑳マグカップ |

ウ 販売高：54,310,490円

エ 委託販売：「京都迎賓館の冊子」 2,766冊

V 管理運営

1 理事会の開催

(1) 第13回理事会

ア 日時 平成29年6月5日（月）午後2時～3時

イ 会場 京都商工会議所 役員室

ウ 出席者 理事13名、監事2名

エ 議事 第1号議案 理事、監事の選任を評議員会に諮る件
第2号議案 平成28年度事業報告に関する件
第3号議案 平成28年度決算に関する件
第4号議案 平成29年度収支予算の補正に関する件
第5号議案 評議員会の開催に関する件

(2) 第14回理事会

ア 日時 平成30年3月13日（火）午後2時～3時

イ 会場 京都商工会議所 役員室

ウ 出席者 理事11名 監事2名

エ 議事 第1号議案 名誉顧問及び顧問の選任に関する件
第2号議案 平成30年度事業計画に関する件
第3号議案 平成30年度収支予算に関する件
第4号議案 平成29年度収支予算の補正に関する件
第5号議案 「就業規程」及び「給与規定」の一部改正に関する件
第4号議案 評議員会の開催に関する件



第14回理事会

2 評議員会の開催

(1) 第13回評議員会

- ア 日時 平成29年6月21日（水）午前11時～12時
イ 会場 御所西京都平安ホテル 朱雀の間
ウ 出席者 評議員5名 専務理事1名 監事1名
エ 議事 第1号議案 評議員の選任に関する件
第2号議案 理事、監事の選任に関する件
第3号議案 平成28年事業報告に関する件
第4号議案 平成28年度決算に関する件
第5号議案 平成29年度収支予算の補正に関する件

(2) 第14回評議員会

- ア 日時 平成30年3月29日（木）午前11時～12時
イ 会場 御所西京都平安ホテル 朱雀の間
ウ 出席者 評議員8名 専務理事1名 監事2名
エ 議事 第1号議案 平成30年度事業計画に関する件
第3号議案 平成30年度収支予算に関する件
第4号議案 平成29年度収支予算の補正に関する件



第14回評議員会

平成29年度事業報告には、定款第8条第1項2号に規定する附属明細書は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しない。

平成30年6月 公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー